

緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）として

九州北部大雨災害に伴う土砂災害危険箇所の緊急点検を行いました

国土交通省北陸地方整備局は、九州北部で発生した大雨に対する支援のため、9日からTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣しました。湯沢砂防事務所からは1班4名が9日から14日まで災害支援をおこないました。活動としては、北陸砂防班は大雨災害を記録した朝倉市の筑後川支川、佐田川支溪の黒川・疣目（いぼめ）川を中心に、全体土砂災害の点検箇所541箇所の内、42箇所（土石流危険渓流：19箇所、急傾斜崩壊危険箇所：18箇所）の緊急点検を実施しました。この緊急点検の結果、応急的な対応や警戒が必要な箇所を抽出し福岡県へ報告しました。これらの活動が、地域住民の安全・安心の確保や被災地の早期復旧に役立てばと思います。



土砂災害発生件数1321箇所
朝倉市344箇所、東峰村210箇所
日田市417箇所、中津市350箇所
(国土交通省調べ：7月20日地点)